

荒山＆鍋割山山行報告

【山行日】2025年 6月 15(日) 曇り後晴

【集合】岩舟支所 P AM 6:00

【費用】マイカー3台 : 1,200円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:大西

青柳、植竹、大塚、岸、佐藤、嶋田、関、田崎、
根本、藤原ト、藤原フ、松葉、渡邊カ、渡邊ト

【コースタイム】岩舟支所 P6:00 = 姫百合

P7:40/7:55 ~ 荒山高原 8:45/8:55 ~ 荒山

10:05/10:20 ~ 東屋 11:10/11:20 ~ 荒山高原 11:30

~ 鍋割山 12:10/12:50 ~ 荒山高原 13:30 ~ 姫百合

P14:10/14:25 = あいのやまの湯 14:55/15:10 = 岩舟支所 P16:30

Bランクの山行は人気があり17名の申し込みが有ったが、当日1名キャンセルが有り16名で岩舟支所を出発する。国道50号線を桐生市に向かって進み、鹿の交差点を右折して県道69号から



県道3号を進む。大胡町を過ぎて赤城神社の大鳥居建つ交差点を右折し、県道4号線を進み姫百合駐車場に車を止める。広い駐車場にはトイレが併設され、駐車場を出た所に登山口がある。出発の準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行って登山口に向かう。良く整備された登山道を緩やかに登り、展望の広場への分岐は直進する。やがて岩がゴロゴロと重なった急傾斜の道を登るようになり、冷たい風が吹き出す風穴を過ぎると傾斜が緩くなり荒山高原に出る。休憩して衣服

調整や水分補給を行い、案内板に従って左の登山道へと進む。ヤマツツジの群生地の中を登って行くが、ツツジは見ごろを過ぎていて花が茶色く変わっていた。それでも新緑の中を歩く登山道は爽快で、皆さんの会話が楽しそうに弾んでいた。登山道の脇に白く可愛い花が咲いていて、「この花は何の花ですか?」と聞かれたが分からなかった。すると登山道で休んでいた男性が、「それはクサタチバナの花です」と教えてくれた。傾斜が緩くなり少し開けた場所で休憩し、ゼリーや菓子を食べエネルギーを補給する。この先から山頂に向けて急坂が続き、滑りやすい斜面を慎重に登って行く。やがて大きな祠が建つ荒山山頂に着き、かつては信仰の山だったことが偲ばれる。



樹林に囲まれて展望は無いが、リンゴや菓子をいただき疲れた足を休める。

記念写真を撮ったら下山開始し、道標に従って南東方向に延びる尾根を下って行く。

東側の展望が開け、新緑の明るい尾根を下ると上の避難小屋に着き、道標に従って右に曲がって進む。さらに新緑の中快適な道を下ると、下の避難小屋に着き休憩する。ここは十字路になっており右に進むと小さな沢を渡り、緩やかに登ると荒山高原に出る。



時間が遅れているので休まず鍋割山に向かい、朝と反対方向の登山道を緩やかに登って行く。

やがて傾斜がきつくなり展望が良いピークが火起山、さらに展望が良い尾根を進むと竈山に着く。

ここから一旦鞍部まで下り、登り返すと大きな山頂標識が立つ鍋割山山頂に着く。南側には関東平野

が広がり、東側には桐生から足利の山々が見渡せる。山頂標識の前で記念写真を撮っていると、「鈴木さん」と声が掛かり、野木山想会の皆さんと会話が弾む。お湯を沸かしてランチタイムとし、カップ麺やスープを作つておにぎりをいただく。キュウリの漬物や出汁巻き卵が出て、豪華なランチを美味しくいただいた。食べている途中で小雨が落ちて来て、急いで食べて下山開始すると雨は止んだ。展望を楽しみながら荒山高原まで下り、荒山高原で最後の休憩を取つて足を休める。ここからも往路を戻り、雨でぬれた岩を滑らぬよう慎重に下つて姫百合駐車場に着いた。トイレを済ませ、靴を履き替えたたら帰路に着く。途中、あいのやまの湯直売所に寄り、トイレ休憩とお買い物。皆さん野菜やキノコ、こんにゃくなどゲットし、レジ袋をぶら下げて笑顔で戻つて来た。やはり帰りにお買い物が出来ると、皆さんが満足するようである。

